

法科大学院 全国統一適性試験 2012年 受験要項

第1回 2012年5月27日(日)実施

第2回 2012年6月10日(日)実施

受験料 15,750円(税込み, 各1回)

申込方法	受験料 支払方法	受付期間	
願書郵送	特約書店 もしくは 銀行振込	第1回・2回 共通	3月13日(火)～4月17日(火) 4月18日(水)消印有効
ウェブサイト	カード決済	第1回	3月13日(火)～4月18日(水)
		第2回	3月13日(火)～5月14日(月)
	コンビニ決済	第1回	3月13日(火)～4月 9日(月)
		第2回	3月13日(火)～4月 9日(月) 4月20日(金)～4月24日(火)
コンビニ店頭設置 の機械を利用※	各コンビニ店頭	第1回	3月13日(火)～4月18日(水)
		第2回	3月13日(火)～5月14日(月)

※…セブンイレブン「マルチコピー」、ローソン「Loppi」、ファミリーマート「Famiポート」、サークルKサンクス「カルワザステーション」

適性試験管理委員会

法科大学院協会・公益財団法人 日弁連法務研究財団・社団法人 商事法務研究会

……… 法科大学院全国統一適性試験の概要 ……

「法科大学院」とは

2004年4月から正式発足した法律の専門職大学院で、「司法試験」の受験資格は、原則として法科大学院の修了者に与えられます。

「法科大学院全国統一適性試験」とは

すべての法科大学院では、出願の際に「法科大学院全国統一適性試験」の成績の提出を義務づけています。本試験は、法律の知識を問うものではなく、法科大学院における履修の前提となる、「判断力」「思考力」「分析力」「表現力」に関する能力を測る試験です。

適性試験管理委員会とその組織

法科大学院協会と公益財団法人日弁連法務研究財団および社団法人商事法務研究会は、法科大学院全国統一適性試験を共同で実施するため、その企画・実施の機関として適性試験管理委員会を組織し、事務局を公益財団法人日弁連法務研究財団および社団法人商事法務研究会に、その窓口を社団法人商事法務研究会に置いています。

主催団体

■ 法科大学院協会(2003年設立)

法科大学院相互の協力を促進して教育水準の向上を図り、もって優秀な法曹を養成し社会に貢献することを目的として設立された団体で、全国のすべての法科大学院が会員校になっています。

■ 公益財団法人 日弁連法務研究財団(1998年設立)

日本弁護士連合会が中心となって設立された公益財団法人で、一段と複雑・多様化、高度化、国際化しつつある法律問題に対応すべく、弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、司法書士から企業の法務担当者までの広範な会員をもって構成され、適性試験事業・認証評価事業等法科大学院関連事業、法律実務の研修、法および司法制度の研究、法情報の収集と提供を通じて社会の発展に貢献することを目的としています。

■ 社団法人 商事法務研究会(1955年設立)

経済人に必要な企業経営に直接関連する法律実務について、官・民・学による実証的な調査研究を行い、企業をとりまく諸法の適正な運営と経済秩序の公正な維持に寄与することを目的として設立された社団法人で、「旬刊商事法務」を発行しています。

適性試験管理委員会委員名簿

委員長	鎌田 薫	早稲田大学総長(法科大学院協会理事長)
副委員長	太田 勝造	東京大学大学院法学政治学研究科教授
	足立 芳寛	東京大学大学院工学系研究科特任教授
	大貫 裕之	中央大学法科大学院教授(法科大学院協会常務理事)
	才口 千晴	元最高裁判所判事(弁護士)
	菅原 郁夫	名古屋大学大学院法学研究科教授
	但木 敬一	元検事総長(弁護士)
	西村 和雄	京都大学経済研究所特任教授・京都大学名誉教授
	松澤 三男	(社)商事法務研究会専務理事
	松村 良之	千葉大学法経学部教授(法科大学院協会入学者選抜・適性試験等検討委員会主任)
	馬橋 隆紀	(公財)日弁連法務研究財団常務理事(弁護士)
事務局長	山本 昌平	(公財)日弁連法務研究財団常務理事(弁護士)

(五十音順・2011年12月現在)

… 2012年法科大学院全国統一適性試験実施要項 …

2012年は試験を5月27日と6月10日の2回実施します。受験者の都合による追試験は実施しません。この2回の試験は同質であり、どちらか1回だけを受験することも、2回とも受験することもできます。

問題の種類・試験時間・解答方式

問題の種類	集合時間	試験時間	配点
第1部 論理的判断力を測る問題	12:00	12:30～13:10 (40分間)	100点
第2部 分析的判断力を測る問題	13:30	13:40～14:20 (40分間)	100点
第3部 長文読解力を測る問題	14:50	15:00～15:40 (40分間)	100点
第4部 表現力を測る問題	16:00	16:10～16:50 (40分間)	

第1部から第3部は、多肢択一・マークシートによる試験。

第4部は論述式試験。採用・採点は受験する各法科大学院の判断に委ねられています。

第1部～第4部のすべての試験に解答が義務づけられています。一部の試験に欠席または棄権した場合は、すべての試験を欠席または棄権したものとみなされます。

試験当日のスケジュールの詳細は受験票にてお知らせします。

■ 論理的判断力を測る問題の特徴

論理的判断力を測る問題は、与えられた文章に含まれる論理構造を認識し、論理的な推論を行って、正しい結論を導く能力を測定することを目標としている。裁判や調停や法律相談等の実務においては、短時間のうちに事案を正確に把握し、問題点を正しく認識し、論証を組み立てていくことが必要になるため、法曹には高い論理的思考能力が必須である。この能力は単なる形式論理の能力だけではなく、文章から論理構造を読み取って合理的な推論を行う能力や、データを解釈して正確な情報を抽出する能力も必要とされる。そのため、問題はさまざまな分野から題材をとり、多様なタイプの設問を用意して、論理的判断力を測定しようとしている。知識の量を問う問題ではないので、設問は最小限の常識的知識は必要とするが、それ以外の予備知識や専門知識の有無により不公平が生じないように配慮された内容となっている。

■ 長文読解力を測る問題の特徴

長文読解力を測る問題は、法曹として必要とされる文章読解能力の有無を測定することを目標としている点に特徴がある。すなわち、法曹は、判決文、準備書面、論文、主張、見解等、多くは長くかつ難解な文章に日常的に接し、短時間でそれらの論理構造や論旨を的確に把握することを要求される。長文読解力を測る問題は、その際に必要とされる論旨の把握・抽出能力、論理構造の把握能力、推論・論理の組み立て能力等を試すものである。また、幅広い分野の知識の理解・吸収能力を問うべく、問題に用いられる素材としての「長文」は法律関係の文章とは限らず、広く種々のジャンルにわたる文章が用いられる。全体として、一般的な国語能力を測るのではなく、法曹に要求される、より高度な読解能力を測定しようとするものとなっている。

■ 分析的判断力を測る問題の特徴

分析的判断力を測る問題は、与えられた条件から結論を導く能力の基礎を測定することを目標としている。日常的な判断は、常識や直感に流されることが多いが、法律の厳密な解釈では、先入観を排除して純粹に前提から結論を導く能力が必要となる。また、真実の解明では、証拠から確実に導かれる事実をみつける能力が必要となる。このように、法曹としての活動のひとつの土台となるのは、与えられた条件から必ず成り立つ事実を正確に導く能力である。分析的判断力を測る問題は、この能力の中から常識や直感的判断を除いた基礎的な推論能力を測定するためのものである。

■ 表現力を測る問題の特徴

表現力を測る問題はいわゆる小論文と出題形式を同じくしているが、法科大学院全国統一適性試験の理念に従い、出題のねらいも通常の小論文とは異なるものとなる。

まず法律学の知識を問うものではないことが大前提である。また多様性・開放性の理念のもと、受験者の専門にかかわらず公平に評価することが可能な内容が求められるので問題傾向を受験者の専門性を問わないような内容としている。

次に法曹としての適性、あるいは少なくとも法曹となるための素養・スキルを測るという目的がある。そこで、事前の知識をはき出すのではなく事実関係やデータ等の題材を提示し、それを使いながら一定の主張を説得力ある文章として展開することを求める。日本語としての作文能力や論理的な構成能力等は当然前提として要求されるが、そのうえで自己の主張を組み立てて、いかに説得的に提示することができるか、という能力を測るものとなっている。

出願資格

本試験の出願資格は一切問いません。どなたでも出願することができます。

法科大学院の受験資格は各法科大学院の基準および判断によります。

試験会場

札幌市、仙台市、東京都、神奈川県、新潟市、金沢市、愛知県、京都市、大阪府、兵庫県、岡山市、広島県、高松市、福岡市、熊本市、鹿児島市、沖縄県の全国17地区で実施します。

具体的な試験会場は受験票にて受験者個別に通知します。指定された受験地区・試験会場の変更はできません（複数の会場で実施する地区（東京地区等）がありますが、出願時に希望会場を指定することはできません）。

… 全国統一適性試験受験者に対する提供資料 …

受験者には、①成績通知書、②成績証明カード3枚綴り×2通（厳封）〔計6枚〕、③「第4部 表現力を測る問題の解答用紙（写）」3通（厳封）【2回とも受験した方には3通×2セット】を「簡易書留」郵便にて発送します（7月9日発送予定）。

「②成績証明カード」が6枚以上必要な方（③「第4部 表現力を測る問題の解答用紙（写）」が3通以上必要な方）には、追加発行します（有料〔成績証明カード1通1,260円、第4部写し3通1セット2,100円〕）。追加発行の申請手順と申請受付期間等の詳細は受験票に明記します。

②成績証明カードには、第1部～第3部の成績について、合計300点として、等化*手続きを経た総合得点（スコア）を整数で表示します。2回の試験を両方受験した方には、等化手続きを経た結果が良い回のスコアのみを表示します。

*「等化」について

本試験は、同質の試験を5月27日と6月10日の2回実施しますが、この2回の試験結果は、各部の結果を共通の得点に変換して比較可能にします。この変換を「等化」といいます。

「等化」のための個人情報利用について

2回とも受験した受験者の成績データは、個人が特定できないように統計処理して、この等化のために利用します。

①成績通知書の記載内容

2011年法科大学院全国統一適性試験
成績通知書

フリガナ	テキセイ タロウ
氏名	適性 太郎
5月29日 受験番号	011L-0012
6月12日 受験番号	511L-0008

2011年5月29日・6月12日実施
「法科大学院全国統一適性試験」における
貴殿の成績を通知いたします。
2011年7月11日 適性試験管理委員会
委員長 鎌田 薫

実施日	正答数	順位(受験者 7,023名中)	平均正答数
5月29日実施			
第1部:論理的判断力を測る問題	12/24	4,052	13.5/24
第2部:分析的判断力を測る問題	14/24	3,831	14.3/24
第3部:長文読解力を測る問題	18/24	3,012	15.1/24
合計	44/72	3,986	42.9/72
6月12日実施			
第1部:論理的判断力を測る問題	14/24	2,722	13.2/24
第2部:分析的判断力を測る問題	15/24	2,809	15.0/24
第3部:長文読解力を測る問題	16/24	2,057	13.5/24
合計	45/72	2,118	41.7/72

※スコア(総合得点)① **188**
※スコア(総合得点)② **192**

※スコア(総合得点)=等化手続きを経た得点
このスコア(総合得点)①②のうち高いスコアを、法科大学院提出用の成績カードに表示している。

なお、全受験者のスコア(総合得点)分布等は、
(公財)日弁連法務研究財団のホームページで
公表しています。
<http://www.jlf.or.jp/>

(お問い合わせ先)
適性試験管理委員会事務局
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町3-9-10
TEL 03-5614-6286
FAX 03-5643-7186

②成績証明カードの記載内容 (1シート・3枚綴り×2通)

2011年法科大学院全国統一適性試験成績証明カード
(6月12日実施試験 受験番号) 511L-0008
テキセイ タロウ
氏名 適性 太郎

※スコア(総合得点) **192**
※ 等化手続きを経た得点

2011年法科大学院全国統一適性試験成績証明カード
(6月12日実施試験 受験番号) 511L-0008
テキセイ タロウ
氏名 適性 太郎

※スコア(総合得点) **188**
※ 等化手続きを経た得点

2011年法科大学院全国統一適性試験成績証明カード
(6月12日実施試験 受験番号) 511L-0008
テキセイ タロウ
氏名 適性 太郎

正答数	第1部	第2部	第3部	合計
	14/24	15/24	16/24	45/72

スコア(総合得点): **192**
※ 等化手続きを経た得点

厳封されたカードの内側には、下の
内容が表示されています（3枚綴り
のシートを点線で3つに切り分け、
そのうち1枚のカードを開封したも
の記載内容）
※開封は法科大学院で行います

●2011年法科大学院全国統一適性試験受験者への提供資料

試験の正解一覧は、各回とも翌日17時までに公表します。また、統計資料は7月上旬頃公表します。いずれも、公表は日弁連法務研究財団のホームページ（<http://www.jlf.or.jp>）上で行います。

出願から成績通知までのフロー

第1回

(試験日5月27日)

●出願書類配布開始
(2012年3月)

●出願書類の入手

●出願受付開始
(2012年3月13日)

●出願受付締切
★郵送での申込み
(2012年4月18日消印有効)
★ウェブサイト(カード
決済)・コンビニ店頭
設置機械からの申込み
(2012年4月18日)

ウェブ申込みでコンビニ決済(郵送・オンライン伝票)の場合は
2012年4月9日

●受験票の発送
(2012年5月16日)

●試験当日
(2012年5月27日)

●試験結果の発送
(2012年7月9日)

■出願書類(願書・専用封筒)の入手方法

- ① 大学生協購買部・主要書店(特約書店等)からの入手
※3月上旬より無料配布します
- ② ウェブサイト(<http://www.jlf.or.jp>)からの出願書類の請求

■申込みの方法

① 郵送での申込み

〈受験料を特約書店等へ支払う場合〉

特約書店等で受験料を支払い(4月17日受付終了)、特約書店等発行の「書店払込証」と「願書」を「専用封筒」に入れて、適性試験管理委員会事務局へ郵送してください。

〈受験料を指定口座へ振込む場合〉

下記の銀行口座に受験料を振り込み(ATM可・インターネットバンキング不可)、「振込金額」と「振込人氏名」が明記されている「利用明細」または「振込証明書」のいずれかと「願書」を「専用封筒」に入れて、適性試験管理委員会事務局へ郵送してください。

受験料振込先	① みずほ銀行 銀座支店 (普通) 2781975 口座名 適性試験管理委員会事務局
	② ゆうちょ銀行 〈ゆうちょ銀行から〉00190-2-282857 〈他行から〉〇一九支店 (当座) 0282857 口座名 適性試験管理委員会事務局

郵送による申込みの際、願書等は消印有効日までに投函して下さい。消印有効日よりあとの消印のものは無効となります。郵送にあたっては「専用封筒」に入れて郵送してください。

② ウェブサイト、コンビニ(店頭設置機械)からの申込み

受付期間中は、ウェブサイト(<http://www.jlf.or.jp>)の出願専用ページまたは全国のコンビニ(店頭設置機械)から直接、受験の申込みができます。なお、この場合は願書の郵送は不要です。

■受験票の到着

受験票は、願書に記載された住所宛に、「特定記録」郵便にて発送します。試験日より5日前までに受験票が到着しない場合は適性試験管理委員会事務局までご連絡ください。

■受験票の持参

受験票(写真貼付欄(2ヵ所)に写真貼付のことは当日必ず会場に持参してください。

■試験結果の発送

試験結果は、願書に記載された住所宛に、「簡易書留」郵便にて発送します。(4頁参照)

第2回

(試験日6月10日)

●出願書類配布開始
(2012年3月)

●出願書類の入手

●出願受付開始
(2012年3月13日)

●出願受付締切
★郵送での申込み
(2012年4月18日消印有効)
★ウェブサイト(カード
決済)・コンビニ店頭
設置機械からの申込み
(2012年5月14日)

ウェブサイトからの申込みでコンビニ決済(郵送・オンライン伝票)の場合は
2012年3月13日から
4月9日、4月20日
から4月24日

●受験票の発送
(2012年5月30日)

●試験当日
(2012年6月10日)

●試験結果の発送
(2012年7月9日)

- 郵送による申込みの際、願書等は消印有効日までに必ず投函して下さい。消印有効日以降の消印のものは無効となります。この場合、受験料は返却されません。
- 受験料を特約書店や銀行に支払いまたは振り込まれても、願書等が事務局まで到着しない場合や正式に受理されない場合、申込みは無効となります。この場合、受験料は返却されません。
- 申込者の都合で受験を取りやめた場合、受験料の返却、試験回の振替(第1回を第2回に、第2回を第1回に変更等)、次年度以降への振替等は認められません。

試験当日の注意事項

試験会場には申込手続をした受験者だけが入場できます。

◎集合時刻

試験開始時刻30分前から試験に関する説明を行いますので、集合時刻（12時00分）までに指定された座席に必ず着席してください（遅刻厳禁）。各部の試験開始時刻に遅れた場合、受験をお断りします。

◎携帯品

1. 受験票：2ヵ所の写真貼付欄に写真貼付のこと。受験票を忘れた場合は受験をお断りすることがあります。受験票に写真がない場合は、試験結果を発送しません。
2. 筆記用具：HBまたはBの黒鉛筆、消しゴム。その他の筆記用具（HB・B以外の黒鉛筆、シャープペンシル等）を使用した場合、採点機械で読みとることができず、無答と判断されることがあります。
3. 腕時計：携帯電話等の通信機器、ストップウォッチを時計として使用することはできません（腕時計に準ずるサイズの置き時計は使用可）。

◎注意

1. 携帯電話等の通信機器は、必ず電源を切って下さい。また、デジタル時計等のアラーム音は試験の妨げになりますので解除しておいてください。
2. ボールペン、定規、マーカー、耳せん、ストップウォッチ等の補助具は一切使用できません。
3. 試験終了時間前に答案を完成させた場合であっても途中退席はできません。
4. 各部間の休憩時間を除く試験時間中の退席は原則としてできません（トイレ・体調不良等やむを得ない場合は挙手をして試験監督員の誘導に従うこと）。
5. 試験監督員の許可なく途中退席等を行った場合は不正行為とみなし、試験教室への再入室をお断りすることがあります。
6. 試験を途中で放棄する場合であっても解答用紙は回収します。

◎不正行為

以下の行為を行った場合は、失格とします。その場合、その年度に受験したすべての試験結果を無効とし、試験結果の発送も行いません。

1. 試験中に、他人に援助を与えたり、他人から援助を受けた場合
2. 他人に代わって試験を受けた場合
3. 他人に対する迷惑行為を行った場合
4. 試験監督員の指示に従わなかった場合
5. その他不正行為を行った場合

◎試験が実施されなかった場合の措置

天災（地震・台風）等により試験が実施されなかった場合は、すみやかに代替措置をとります（第1回試験の代替措置は第2回試験への振替とします）。その場合、受験を希望しない受験者は受験料全額の返金を請求することができます。ただし、代替措置に伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については適性試験管理委員会およびこれを組織する団体は一切の責任を負いません。

受験票について

「受験票」は、写真の方が本試験を受験したことを証明するものです。試験終了後も下記①～③の用途等で使用場合がありますので、大切に保管してください（再発行は有料となります）。

受験票には写真貼付欄（2ヵ所）がありますので、写真を貼付して試験当日に会場までご持参ください。写真の大きさは縦4cm×横3cmで6ヶ月以内に写した上半身脱帽、正面の証明写真（カラー・モノクロ共に可）に限ります。写真のコピー、プリンターで普通紙に印刷したもの、プリクラ、サングラス着用、集合写真は認められません。なお、第1回と第2回を受験する場合、それぞれの受験票に貼付する写真は受験者本人と確認できるものであれば同一である必要はありません。

- ① 法科大学院等から、受験の際、携帯・提示を求められた場合に提示するため
- ② 成績証明カード等の追加発行を希望する場合、またその方法の確認のため
- ③ その他、適性試験管理委員会事務局への問い合わせのため

…… 学校名コード一覧(国立大学法人・公立, 私立別) ……

※該当する学校が一覧にない場合は「3000」を記入して下さい。

コード	国立大学法人・公立大学	コード	私立大学	コード	私立大学	コード	私立大学
1001	岩手大学	2001	愛知大学	2201	作新学院大学	2404	南山大学
1002	愛媛大学	2002	愛知学院大学	2202	札幌大学	2405	二松学舎大学
1003	大分大学	2003	青森中央学院大学	2203	札幌学院大学	2406	日本大学
1004	大阪大学	2004	青山学院大学	2204	志學館大学	2407	日本文化大学
1005	大阪市立大学	2005	朝日大学	2205	城西大学	2408	ノースアジア大学※2
1006	岡山大学	2006	麻布大学	2206	上智大学	2501	白鷗大学
1007	小樽商科大学	2007	亜細亜大学	2207	駿河台大学	2502	姫路獨協大学
1101	香川大学	2008	大阪学院大学	2208	成蹊大学	2503	広島修道大学
1102	鹿児島大学	2009	大阪経済大学	2209	成城大学	2504	福岡大学
1103	金沢大学	2010	大阪経済法科大学	2210	西南学院大学	2505	福山平成大学
1104	北九州市立大学	2011	大阪国際大学	2211	清和大学	2506	富士大学
1105	九州大学	2012	岡山商科大学	2212	摂南大学	2507	平成国際大学
1106	京都大学	2013	沖縄大学	2213	専修大学	2508	法政大学
1107	熊本大学	2014	沖縄国際大学	2214	創価大学	2509	放送大学
1108	神戸大学	2101	学習院大学	2301	大東文化大学	2510	北陸大学
1201	埼玉大学	2102	神奈川大学	2302	高岡法科大学	2511	北海学園大学
1202	佐賀大学	2103	関西大学	2303	拓殖大学	2601	松山大学
1203	静岡大学	2104	関西学院大学	2304	中央大学	2602	宮崎産業経営大学
1204	島根大学	2105	関東学院大学	2305	中央学院大学	2603	明海大学
1205	首都大学東京※1	2106	関東学園大学	2306	中京大学	2604	明治大学
1206	信州大学	2107	九州国際大学	2307	帝京大学	2605	明治学院大学
1301	千葉大学	2108	京都学園大学	2308	帝塚山大学	2606	名城大学
1302	筑波大学	2109	京都産業大学	2309	東亜大学	2607	桃山学院大学
1303	東京大学	2110	京都女子大学	2310	桐蔭横浜大学	2701	山梨学院大学
1304	東北大学	2111	杏林大学	2311	東海大学	2702	四日市大学
1305	富山大学	2112	近畿大学	2312	東京経済大学	2801	立教大学
1401	名古屋大学	2113	久留米大学	2313	同志社大学	2802	立正大学
1402	新潟大学	2114	慶應義塾大学	2314	東北学院大学	2803	立命館大学
1501	一橋大学	2115	甲南大学	2315	東洋大学	2804	龍谷大学
1502	弘前大学	2116	神戸学院大学	2316	獨協大学	2805	流通経済大学
1503	広島大学	2117	國學院大學	2401	名古屋学院大学	2901	早稲田大学
1504	福島大学	2118	国土館大学	2402	名古屋経済大学		※2…秋田経済法科大学
1505	北海道大学	2119	駒澤大学	2403	奈良産業大学		
1701	山形大学						
1702	山口大学						
1703	横浜国立大学						
1801	琉球大学						

※1…東京都立大学

3000	その他
------	-----

●個人情報の取扱い●

1. 受験者の個人情報は、適性試験管理委員会を組織する法科大学院協会、公益財団法人日弁連法務研究財団および社団法人商事法務研究会が個人情報保護法の趣旨に則り、適正に管理・利用します。
2. 受験者の個人情報は、受験者の承諾なく第三者に提供することはありません。
3. 受験者が出願をし、本試験の受験番号を通知した法科大学院に対しては、法科大学院の要請がある場合、当該受験者の試験結果（「表現力を測る問題」の解答用紙（写）を含む）や願書記載事項等の個人情報を、適性試験管理委員会から直接提供します。
4. 個人が特定できないように統計処理したデータを、本試験の等化や精度向上等を図るための各種研究・調査の資料として利用します。なお、当該データは、本試験の精度向上等を図るための各種研究・調査の資料とするため、適性試験管理委員会が特に承認した団体およびグループ等に提供する場合もあります。

適性試験管理委員会事務局

<http://www.jlf.or.jp/>

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-9-10

茅場町ブロードスクエア2F

TEL 03(5614)6287 FAX 03(3661)7150

(受付時間：平日10:00~17:00)

※ お問い合わせは、受験者ご本人に限らせて頂きます。